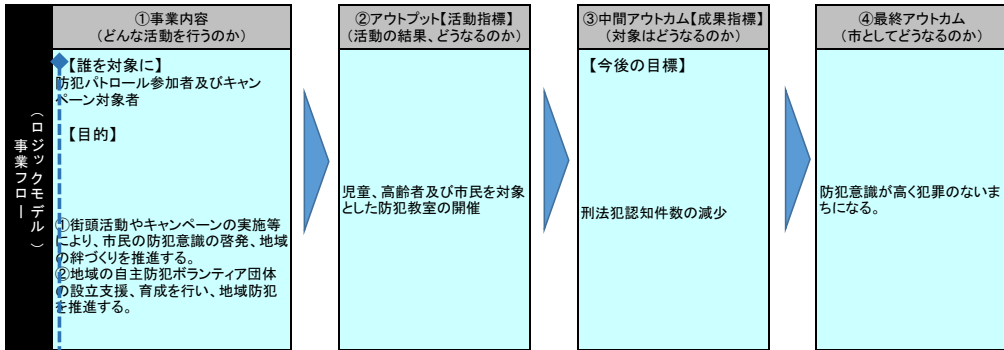


長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	15	事業名	防犯事業	担当部課	くらし文化部安心安全課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款 - 項 - 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	無		2-1-13 防犯費	
	事業開始の背景、経緯等	県内の刑法犯認知件数は、平成6年と比べて平成15年には倍増するなど治安の悪化が心配されたため、平成16年に愛知県安全なまちづくり条例が制定された。市としても市、市民、事業者の責務や取り組むべき施策の基本事項を定め、三位一体となって安全で安心して暮らせる社会を実現させることを目的とし、事業に取り組んでいる。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		



項目	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
事業費(A)	千円	予算	2,641	1,971	1,673	2,267	6,322
		決算	2,494	1,297	1,067	1,350	-
人件費(B)	千円	決算	4,043	3,234	3,234	4,159	-
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	6,537	4,531	4,301	5,509	-
事業対象の数(D) (R5年度は想定数)	人		4,660	2,240	3,700	6,740	6,700
対象あたりコスト(C/D)の過去3年平均値	千円		2	2	2	2	

中間アウトカム【成果指標】の数値設定 (事業の意図を反映する指標)	単位	【現状】 R4年度(2022)年実績	【目標①】 R6年度(2024)年実績	【目標②】 R8年度(2026)年実績
刑法犯認知件数	件	252	227	205
(指標の設定根拠)		(数値目標の根拠:調査名、調査年など出典)		
防犯パトロール及びキャンペーン等を行い、刑法犯認知件数を減らすことを目標としているため		前年度刑法犯認知件数の5%減少		

事業開始からの経緯など	防犯啓発活動や愛知県警の活動により刑法犯認知件数の減少が続いていたが、令和4年は増加した。
令和4年度の成果	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 愛知地区防犯協会提供の啓発品により、啓発活動を行った。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 犯罪手口は多様化、複雑化していることから、警察等と連携し、啓発活動を進める必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事業の方向性) より多くの市民に周知、啓発できるよう、啓発方法等を検討し、令和5年度から犯罪傾向に応じた啓発活動を行う。
--------	--

事務事業①	自主防犯活動支援事業						
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
(1) 青ハトロールカー貸し出し回数	回	見込	6	12	12	15	15
		実績	9				
(2) 【アクションプラン】自主防犯ボランティア団体数	団体	見込	25	25	25	25	25
		実績	25				
(3)		見込					
		実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))> 青ハトロールカー貸し出し回数 9回						今後の方向性	拡充
						コスト投入	現状維持

事務事業②	自主防犯活動支援事業						
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
(1) 運営に携わる市民の人数	人	見込					
		実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
		実績					
(3)		見込					
		実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>						今後の方向性	
						コスト投入	

事務事業③	自主防犯活動支援事業						
活動指標	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
(1) 運営に携わる市民の人数	人	実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
		実績					
(3)		見込					
		実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>						今後の方向性	
						コスト投入	